

PTA通信



蕪崎工業高等学校
http://www.kai.ed.jp/nirasakith/
E-Mail: info@nirasakith.kai.ed.jp

2005.12.22 Vol. 2

〈編集・刊行〉
蕪崎工業高等学校PTA
〈発行責任者〉
PTA会長 漆原正英

NIRASAKI TECHNICAL HIGH SCHOOL NewsPaper of PTA (Parent-Teacher Association)

高校生活は、 自立を促すとき…。

親として、どのように関われば良いのでしょうか？

親としての子供との関わり方は、子供の成長とともに少しずつ変化して行くと感じます。

小中学生のときを振り返ると、子供の身の回りの世話や思い出づくり、そして何よりも様々な危険からの保護が親としての主な責務だったと思います。

しかし、高校生ともなると身体も考え方も大きく成長し、何時か知らずに親を敬遠するようにもなると感じます。世話をやくどころか親と子の関係に少し距離をおくようになってしまっても感じます。

大人へと自立・成長する課程においては当然のことかとも思いますが、だからといって親のほうから腫れ物にでも触るように避けていたのでは、ますますその距離は広がってしまうことなのでしょう。小中学

生のときは全く違う意味での難しさを感じます。

高校生活は自立を促すときだと思います。子供まかせにすべきと思われるときは、まず子供の意見や考え方を尊重して聞き入れ、共に考え・話し合うべきときは、より積極的に人生の先輩としての意見・指導を行なう努力を怠らずに、子供との距離の広がりを抑えなくてはならないでしょう。

いずれにしても手が掛からなくなったからといって、子供との関わりを希薄にしてしまっただけでは親としての責任を放棄したことになってしまうと思います。

子供の成長と共に、親は親としても成長しなくてはならず、そして自覚し、今まで以上に子供との深く良好な関わり方を模索しながらも、メリハリのある関係を保つように心掛けなくてはならないのだと感じています。

自らが良き社会人としての手本や良き人生の目標と成るべく努力を行なう。それが子供たちを確かな自立へと導くことに繋がるものと考えています。

学校が^{進化}変わっている！ 『確実に…』そして『着実に…』。

シリーズ ②

地域社会や時代のニーズに
柔軟に対応した

蕪崎工業高等学校は今…。
新しい工業高校の在り方を求め、進化しています！

前号(創刊号)では、蕪崎工業高校の変わりつつある姿や取組み方など、教育目標・指導方針やそれに応えようと、努力している生徒達の目的意識を持った積極的姿勢などを紹介させていただきました。

第2弾(シリーズ②)とし、生徒達や先生方が実際に取組み、努力して得た実績と、素晴らしい成果を上げている主な事例を紹介いたします。

就学の状況

① 出欠席状況

本年度の生徒の出欠席者数の状況は、減少傾向にあり、例年比2%以上向上しています。かなり高水準の出席率を維持しております。

② 皆勤・精勤者

本年度は生徒の皆勤・精勤者の数が大幅に向上しています。例年の約3倍の生徒が無遅刻・無欠席で就学に励んでいます。

③ 資格取得

本年度の各種資格取得者数は、大幅に増加しております。前年度は年度を通して841件(これも低い水準ではありませんが…)でしたが、今年度は年度途中にもかかわらず、既に約1,000件の資格取得の実績を遂げました。

④ 中途退学者

本年度の中途退学者数は、過去に例を見ないほどの激減です。残念ながら中途退学者はおりますが、それでもわずか2名。(転学1名・死亡1名)

⑤ 善行生徒

善行生徒が急増しています。通学途中などで、出会った一般の方のちょっとしたトラブルや、老人達の手助けなどを積極的に行なっている生徒達が増えています。名を告げずに立ち去る事が多いようですが、制服を見た一般の方々から学校へお礼や励ましの連絡が多数届くようになりました。

〈裏面につづく〉

部活などの活躍

① 体育系

本年度の体育系は見事な活躍をいたしました。今やお家芸とも言える程の活躍をしているレスリング部は、全国屈指のレベルとなり、ナショナル選手をも輩出しています。

また、野球部も全国高校野球県大会において19年ぶりとなる3回戦進出を果たしました。

これらの活躍に刺激され、サッカー・バスケ・空手部など他の部活動も大変盛んになり、夏休みに合宿を行なう部が増えました。

② 文化系

写真部は本年度も各種の賞を受賞いたしました。太鼓部においては、県民文化祭や各地区での文化

祭などに出場し、その気魄のこもった勇姿に喝采を浴び、観客を魅了いたしました。高校芸術文化祭で優勝し、悲願の全国大会出場を果たしました。

ロボコン山梨大会においては、高校生部門での完全優勝を果たし、今や上位常連の活躍ぶりとなっています。

茶道部も、ことある度の来校客へのふるまいは大きな話題となっております。

子供達のこのような活躍・躍進・レベルアップと先生方の熱意によって、蕪工はますます地域の方々から大きな期待を寄せられる学校へと、着実に進んでいると感じます。

自信と誇りに満ちた様子の子供達の顔は明るく、活気・活力のある雰囲気のある学校となっています。

PTA活動報告 (抜粋)

- 7月7日～ 交通事故・違反0 3ヵ月運動の支援 (街頭指導)
9月22日 期間中の毎火・木曜日に生徒指導部の保護者にご協力を頂き、通学路での交通マナー・安全指導を行ないました。
- 7月 25日 蕪工校PTA通信(創刊号)の発行
高校生の健全育成を目指す、同世代の子供を持つ親同士の情報交換誌として、年2回の発行を目標に創刊いたしました。
- 8月27日～ 第55回全国高等学校PTA連合会大会(長野県)
28日 本校からは、神宮司校長先生と正副会長の計3名が参加。全国より約10,000名が参加。高校生を取り巻く諸問題等について活発な意見・情報交換会が行なわれました。
- 9月 2日 県高P連 役員会
- 10月 5日 蕪工PTA婦人部・常任理事会合同会議
- 6・7日 関東高P連 役員会(千葉県)
- 14日 蕪工祭(餅つき)
高添婦人部長を中心とした約30名のPTA会員の皆様のご協力を頂き、前日より用意した餅米70kg(13臼)600食分を子供達や先生方にふるまい、蕪工祭の初日を大いに盛り上げることができました。
- 15日 蕪工祭(PTA合唱・バザー)
本年度からの初の催しのPTA合唱団、先生方と保護者の合同で結成し、全校生徒にその実力を披露しました。上々のできばえに子供達からも大きな拍手喝采をいただきました。やればできるものです。
バザーでは、開店前から行列が出来る程の盛況で、会員の皆様よりご協力頂きました遊休品は1時間余で完売いたしました。ご理解・ご協力に感謝いたします。
- 11月 1日 県高生連 役員会
- 2日 甘利山登山強歩大会(豚汁)
高添婦人部長を中心とした約30名のPTA会員の皆様のご協力を頂き、800食分の豚汁を作りました。ゴールしてくる子供達や先生方にふるまって大会を支援、盛り上げることができました。
- 12月 22日 蕪工校PTA通信(Vol.2)の発行



【蕪工祭】
開会式での校長先生の餅つき



【蕪工祭】
PTA合唱団の心を込めた合唱



【蕪工祭】
大盛況だったバザー風景



【甘利山登山強歩大会】
豚汁を振舞うお母さん方



【甘利山登山強歩大会】
正副会長も、参加いたしました

蕪工PTA通信では、みなさまからのご意見・ご感想等をお待ちしております。

取り上げてもらいたいテーマやお知らせ・ご意見など、何でも結構ですので気軽に下記までご投稿ください。

〒407-0031 蕪崎市電岡町若尾新田 50-1 蕪崎工業高等学校PTA 宛